

令和6年度 滋賀県主任介護支援専門員フォローアップ研修 開催要領

1. 目的 認知症や終末期などで、意思決定支援を必要とする利用者・世帯がさらに増える一方、各職種及び個別サービスの多様化が進むと考えられています。
利用者と家族の生活の継続を支えるために、各職種で培われた知見に基づいて想定される支援を体系化し、その必要性や具体化を検討するためのアセスメント、モニタリングの項目を整理した、「適切なケアマネジメント手法」の重要性が指摘されており、令和6年度より法定研修のカリキュラムも見直されます。介護支援専門員実務研修での実習受入事業所では、「適切なケアマネジメント手法」による指導が求められることとなるため、主任介護支援専門員として、「適切なケアマネジメント手法」の概要と活用等を学び、更なる質の向上、業務の効率化等を図ることを目的とします。

2. 主催 滋賀県

3. 実施機関 滋賀県介護支援専門員連絡協議会

4. 内容

	日時	テーマ	講師
第1日目	令和6年4月19日(金) 10:00～16:00 (受付 9:30～)	適切なケアマネジメント手法の基礎と、課題分析標準項目について ～基本ケアを中心に～	国際医療福祉大学 大学院 教授 日本ケアマネジメント学会 認定ケアマネジャー 石山 麗子 氏
第2日目	令和6年5月20日(月) 10:00～16:00 (受付 9:30～)	実践の振り返りと、疾患別ケアのイロハ ～今後の実践での活用に向けて～	国際医療福祉大学 大学院 教授 日本ケアマネジメント学会 認定ケアマネジャー 石山 麗子 氏 一般財団法人長寿社会開発センター 事務局長 遠藤 征也 氏
第3日目	令和6年6月24日(月) 10:00～16:00 (受付 9:30～)	滋賀県の在宅医療福祉推進について	滋賀県健康医療福祉部 医療福祉推進課 高田 佳菜 氏
		介護支援専門員の倫理について	日本介護支援専門員協会 常任理事 株式会社シルバージャパン 代表取締役 中林 弘明 氏

5. 対 象 主任介護支援専門員であり、適切なケアマネジメント手法の基礎を学びたい方
主任介護支援専門員であり、既に学習や実践をしているが、伝達や教え方などをさらに学びたい方

※第1～3日目の研修を通して出席できる方のみとします。

6. 受講定員 会場 75名
Web 100名

※申込多数の場合は、お断りすることがあります。

7. 開催方法（いずれかの方法によりご参加ください）

1) 研修会場（県立長寿社会福祉センター）	2) ZOOM を使用した Web 配信
<p>■会場：県立長寿社会福祉センター ■定員：会場 75名</p> <p>■新型コロナウイルス感染症対策について 研修会当日は、感染予防策を十分に行なった上で、実施致します。受講決定通知に同封される添付書類 1「感染予防策へのご協力をお願い」を参照いただき、ご協力をお願い致します。 研修受講にあたっては、添付書類 2「健康観察票」を受付へ提出いただきますようお願いいたします。</p>	<p>■事業所や（ご自宅から）参加いただけます。 ■定員： 100 名</p> <p>①機器の準備 お一人毎に 1 台の PC をご用意下さい。1 台での複数の参加はできません。インターネット環境の確認をお願い致します。発表やグループ演習があるため、カメラ付き PC をご用意ください。受講環境を統一しますのでスマートフォンでの参加はご遠慮ください。 ②接続確認 ご利用の端末に ZOOM アプリ（無料）をダウンロードして下さい。事前接続テストをご希望の方は、申込時に、希望欄へチェックを入れてください。 ③研修会開催日 開催日までに招待メールをメールで送付いたします。 ※事前テストと当日の URL は異なりますのでご注意ください。</p>

8. 受講申込 ①受講希望者は、**令和6年4月3日(水)まで**に下記URL（二次元コード）からお申込みください。



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdjFwRmteu2hbYNEcK-Bbj8E_dYtj5GNBsO95-FPL9hZSjeww/viewform?usp=sf_link

※PC のブラウザに上記 URL を入力して頂くか、二次元コードを PC 又はスマートフォンで読み取って受講申し込みを行ってください。尚、オンラインでの受講申し込みができない場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

当会ホームページからも申し込みが可能です。

ホームページアドレス：<http://shiga-caremana.jp/>
「研修のご案内」→「滋賀県委託研修」→「主任介護支援専門員フォローアップ研修」→「お申し込みはこちら」

②受講希望者は、①と合わせて、**令和6年4月3日(水)必着**で、主任介護支援専門員研修または主任介護支援専門員更新研修の修了証明書の写真データ、又はPDFデータを滋賀県介護支援専門員連絡協議会事務局あてにメールでinfo@shiga-caremana.jpに送付して頂くか、写し(コピー)を郵送にて送付してください。「受講目標」ならびに「推薦文」を基に、受講決定させていただきます。

③研修資料については、全受講者に後日データ送付致しますので、各自で印刷をお願い致します。WEB受講希望者のうち、印刷された研修資料の郵送を希望される方は、レターパックを事務局まで送付または持参してください(**令和6年4月3日(水)必着**)。

詳しくは「**別紙1**」をご確認ください。

9. 受講決定 受講の可否については**令和6年4月9日(火)**までに『受講決定結果についての通知』を所属事業所あてに郵送します。

※『受講決定結果についての通知』が届かない場合は、**令和6年4月12日(金)**までに、滋賀県介護支援専門員連絡協議会事務局へご確認ください。

10. 推薦文 所属長の方は、本研修の目的をご理解いただき、受講希望者への期待などを入力してください。

なお、受講希望者本人が所属長、法人代表若しくは管理者の場合は、自己推薦として所属長欄に推薦文を入力してください。

11. 受講証明発行 遅刻、早退、研修中の離席につきましては、受講証明書を発行できない場合があります。

12. その他 ①駐車スペースには限りがございます。できる限り公共交通機関でお越し下さい。
②天候等による研修の中止等の案内は、滋賀県介護支援専門員連絡協議会のホームページ (<http://shiga-caremana.jp/>) に掲載します。受講者様ご自身でご確認ください。

お問い合わせ・提出先
滋賀県介護支援専門員連絡協議会 事務局
〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138
滋賀県立長寿社会福祉センター内
Tel 077-567-4550 Fax 077-567-3906
E-mail : info@shiga-caremana.jp

講師紹介

石山 麗子 氏

国際医療福祉大学大学院
医療福祉経営専攻 教授



1992年武蔵野音楽大学を卒業

音楽療法を通じて知的障害児入所施設に入職、障害者職業センター 障害者職業カウンセラーの経験を経て

2001年 介護支援専門員

2005年東京海上日動ベターライフサービス株式会社入社 シニアケアマネジャーとして 140名のケアマネジャーを統括

2013年 国際医療福祉大学大学院博士課程修了、博士（医療福祉学）

2015年 日本介護支援専門員協会 常任理事

2016年 厚生労働省老健局振興課 介護支援専門官

2018年 現職

遠藤 征也 氏

上智大学大学院博士前期課程

1985年

厚生労働省（旧厚生省）入省

介護保険創設に従事後、通算5回の介護
保険法改正、報酬改定業務に従事

<介護保険関係業務に従事した主な職務>

介護報酬解析官

特別介護サービス指導官

特別介護保険指導官

介護支援専門官

老健局総括補佐

老健局介護保険指導室長

兼ケアマネジメント調整官 歴任

<現在>

（財）長寿社会開発センター

事務局長（兼）調査研究開発部長

講師紹介

中林 弘明 氏

資格 主任介護支援専門員
介護福祉士
相談支援専門員

主な公職

一般社団法人 日本介護支援専門員協会 常任理事
一般社団法人 兵庫県介護支援専門員協会 相談役
兵庫県シルバーサービス事業者連絡協議会 会長
尼崎市ケアマネジャー協会 副会長
兵庫県社会福祉審議会 臨時委員
兵庫県介護予防・生活支援推進会議 委員
兵庫県国民健康保険団体連合会介護給付費審査委員会 委員
兵庫県認知症疾患医療連携協議会 委員
尼崎市地域包括ケア推進部会 委員
西宮市社会福祉審議会 高齢者福祉専門分科会委員
西宮市地域包括支援センター運営協議会委員
西宮市地域密着型サービス等運営委員会委員
一般社団法人 日本在宅介護協会 近畿支部 副支部長
特定非営利活動法人 ショイフル 理事長



経歴

大手コンピュータ会社を平成4年に退職後、両親が経営する看護婦家政婦紹介所に籍をおいたが、高齢社会に向け従来の福祉の考え方に疑問を抱き、平成5年に株式会社シルバージャパンを設立。尼崎市、西宮市を中心に訪問介護サービスを行い、地域密着型で利用者本位の質の高いホームヘルプサービスを提供している。平成9年には兵庫県ベンチャー財団、大阪中小企業投資育成(株)より投資をうけ、平成10年には第3回神戸アントレプレナー大賞奨励賞を受賞。

平成12年の介護保険制度開始に伴い、訪問介護サービス専門会社として「お客様に心から満足していただけるサービスをめざすだけでなく、そこで働くスタッフがともに喜びを得られることを大切に、社会に貢献する企業」としてより質の高いサービスを展開しています。

私の強み

平成19年7月30日に不慮の事故により頸椎損傷となり、首から下が全身麻痺の寝たきり状態となる。握力は全くなく唯一寝たままの状態でも腕を動かすことくらいしかできなかった。病院では、元の健常者のような状態になることは無理だろうと診断されたが、当時の自分は、障がいの受容ができずと言うか復帰することだけしか頭にありませんでした。約4ヶ月の入院生活で、日々のリハビリ以外にも病室でのトレーニングの結果、寝たきりの状態から車いす、歩行器での歩行、伝え歩き、室内歩行へと順調に機能が回復するようになった。ただ現在は、神経損傷の障害は、普段の生活にはあまり支障はないが、両手の小指と薬指に痛みが残り両足の膝から下がやけどをした後の痛みが固定障害として残ってしまう。全身麻痺の経験から現場復帰した経営者であり、介護支援専門員です。